

よっかいち

市議会

だより

11月定例会号



三重県立  
四日市  
農芸高校



市議会  
×  
高校生



「みのりの丘」で食と緑のスペシャリストになる！  
「農」を学ぶ高校生と意見交換



市議会HP  
情報発信中！

特集は22ページへ

No.347 令和7年2月5日発行

## 11月定例月議会の概要

11月27日から12月25日までの29日間で開催しました。

市長提出の35議案を審議し、すべて原案のとおり可決し、1件の人事案件に同意しました。また、請願については2件を採択し、2件の審査期限を令和7年3月25日まで延期しました。

## 日 程

月	日	内 容	月	日	内 容
11	27	本会議 初日		11	本会議 (一般質問)
	4	本会議 (代表質問)		12	本会議 (一般質問 ほか)
	5	本会議 (一般質問)	12	13	各常任委員会／予算分科会
		教育民生常任委員会		16	教育民生常任委員会／予算分科会 産業生活常任委員会
12	9	本会議 (一般質問)		19	予算常任委員会全体会
	10	本会議 (一般質問)		25	本会議 最終日
		総務常任委員会			
		都市・環境常任委員会			

## 議決結果

### 【全会一致で可決・同意された議案】

番 号	市 長 提 出 議 案
議 案	52 令和6年度 国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)
	53 令和6年度 食肉センター食肉市場特別会計補正予算 (第1号)
	54 令和6年度 介護保険特別会計補正予算 (第1号)
	55 令和6年度 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)
	56 令和6年度 水道事業会計第1回補正予算
	57 令和6年度 市立四日市病院事業会計第1回補正予算
	58 令和6年度 下水道事業会計第1回補正予算
	59 令和6年度 農業集落排水事業会計第2回補正予算
	60 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
	61 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	63 ふれあい牧場条例の一部改正
	64 土地の処分
	65 工事請負契約の締結 -文化会館空調設備ほか更新工事-
	66 工事請負契約の締結 -文化会館改修工事-
67 工事請負契約の締結 -近鉄四日市駅周辺 (四日市中央線) 整備工事 (その9) -	
68 工事請負契約の締結 -鶉の森公園整備工事-	
69 工事請負契約の締結 -西南出張所整備工事 (建築工事) -	
70 工事請負契約の変更 -四日市中央線道路整備工事 (東工区その2) -	



## 用語解説

**【討論】** 採決の前に議題となっている案件に対し、賛否の意見を表明するとともに、意見の異なる議員に、自己の意見に賛同するよう求める発言

### 議案第51号に反対

保育士派遣業務委託費には派遣会社に採用された保育士への給料だけでなく、派遣会社への手数料が含まれている。その手数料分の委託費を保育士の処遇改善に充てるべきであり、当該事業は保育士本人の所得向上につながらないため反対する。また、マリッジサポート事業業務委託費は、男女の参加者数に大きな偏りがあり、本来の目的を果たしていない。プライバシーの問題上、参加者の追跡調査ができず、費用対効果を判断できない事業に多額の費用を支出するのは不適当であるため反対する。

(村上暁議員)

### 請願第3号および請願第12号の審査期限の延期に反対

請願第3号について、市民団体による令和6年11月の調査で、PFASによる汚染が市内各地で確認されており、市民の健康に対する不安を取り除くため、今すぐ市内全域の実態把握が必要である。また、請願第12号について、給食費の無償化を求める5200人以上の署名は、子育て世帯の切実な願いの表れである。給食費の無償化には約14億円が必要だが、本市は他自治体と比べても健全な財政状況で、決して実現できない金額ではない。よって、両請願を直ちに採択すべきと考え、審査期限の延期に反対する。

(村上暁議員)

### 議案第62号に反対

令和5年11月定例月議会において、四日市ドームの改修費が約62億円必要であることが示されたが、いまだに具体的な方針が示されていない。改修費がこれほど多額になった原因を究明して、何らかの対策を講じるべきであったと考える。また、適切に判断するための情報や市の方針が示されていない中で、市直営方式に変更する条例改正議案を上程するのは、順序が逆である。まずは、除却するのか改修するのかを議会が判断できる材料を市は示すべきと考え、本議案に反対する。

(川村幸康議員)

### 議案第62号に賛成

市は、改修費用が高額になるため、四日市ドームの大規模改修を令和5年度に見送り、改修または除却について、令和7年5月に議会へ報告できるよう検討中である。令和6年度で指定管理者による管理が終了するため、令和7年度は市が直営管理する方針で、今回の条例改正は、市の直営または指定管理者による管理のいずれの場合でも対応できるように、条例を改正しようとするものである。稼働率の高い四日市ドームを令和7年度も市民が利用できるようにするために必要な改正と考え、賛成する。(中川雅晶議員)

## 人事案件

### ●教育委員会委員

菅生 寿子氏 (新任) 住所：城東町

## 議員説明会

11月6日に「総合計画の中間見直し」「窓口業務デジタル化実施計画の策定」について、行政側から説明を受けました。

## 委員会審査

常任委員会の審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

### 総務常任委員会

#### 適切な方法と金額で市有地の売却を

##### ◆土地の処分

**問** 市有地を随意契約で売却する理由は何か。

**答** 既に当該土地を貸し付けている事業者に対しては、随意契約で売却できるとする規定に基づき売却する。

**問** 土地の上に建つ建物の評価額や、将来の除却費用などを考慮した売却額となっているのか。

**答** 不動産鑑定士がさまざまな条件を踏まえて行った鑑定評価を基に、売却額を算出している。

### 教育民生常任委員会

#### 災害弔慰金を迅速に支給するには？

##### ◆災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

**問** 災害関連死の認定まで半年から1年程度かかる事例もあるため、災害弔慰金を迅速に支給できるよう県内で統一基準を設けておくべきではないか。

**答** 新たに設置する弁護士や医師等の有識者による審査会を年1回程度開催し、発災時に災害弔慰金を迅速に支給するよう努める。

### 産業生活常任委員会

#### 四日市ドームを市直営にする理由は？

##### ◆四日市ドーム条例の一部改正

**問** 四日市ドームの管理を指定管理者から市直営に戻す理由を明確にすべきではないか。

**答** 指定管理者の指定期間が満了となることに加え、施設の改修時期も未定であるため、令和7年4月以降の運営を市直営に戻そうとするものである。

**意見** 四日市ドームを改修するのか、除却するのかを早急に決定すべきである。

**意見** 市全体の公共施設の在り方を考える中で、施設の存続か除却かを議論することが重要ではないか。

## 都市・環境常任委員会

### 円形デッキと連絡通路の整備状況は？

◆工事請負契約の締結 —近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事（その9）—

**問** 円形デッキに整備するエレベーターに、自転車を乗り入れることはできるのか。

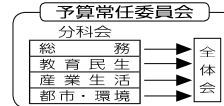
**答** 円形デッキは歩行者用であり、自転車は車道に施した路面標示に沿って道路を横断することになる。

**問** 近鉄四日市駅との連絡通路の整備について、鉄道事業者の合意は得ているのか。

**答** 鉄道事業者の合意は得ているが、詳細な条件等は協議中である。

## 予算常任委員会

予算の審査は、まず、四つの分科会で詳細に審査を行います。その後、必要な事項については全体会でさらに議論を深めます。



## 分科会

### 総務分科会

#### 今後の本市のふるさと納税の取り組みは？

◆ふるさと応援寄附金事業

**問** 本市の返礼品で人気のある品は何か。

**答** ごま油や焼酎、冷や麦、萬古焼などのほか、SDカードや米なども人気がある。

**問** 今後、ふるさと納税による寄付額をどのように増やしていくのか。

**答** 新たな返礼品を発掘し続けることは難しいため、事業者と共同で魅力的な返礼品を企画してもらうなど、新たな成長の機会を探る予定である。

### 産業生活分科会

#### 戸籍に登録する氏名の振り仮名の届け出は？

◆戸籍住民基本台帳事務費（戸籍の振り仮名に関する業務委託費）

**問** 戸籍法の改正により、戸籍に登録する氏名の振り仮名を市民に確認し、登録するための業務の一部を委託するものだが、市民はどのような場合に届け出が必要になるのか。

**答** 住民基本台帳上の振り仮名を市民に通知し、変更が必要な場合に届け出してもらう。

**問** 名字はどのように確認するのか。

**答** 名字は戸籍の筆頭者に確認する。

### 都市・環境分科会

#### 計画中の自由通路の昇降場所は？

◆総合交通戦略推進事業

**問** 計画中のJR四日市駅から南納屋公園までの自由通路の途中に、人や自転車が昇降できる場所を設置する考えはあるか。

**答** 自由通路の途中にも、昇降できる場所が必要だと考えているが、具体的な昇降場所はまだ決めていない。

#### 水質調査の要望があった場合の対応は？

◆水質汚濁対策事業費

**問** 地下水の水質調査は地区の要望を受けて実施するとのことであるが、他の地区から要望があれば調査するのか。

**答** 他の地区から要望があった場合は、周辺の河川等の状況も踏まえて検討していきたい。

### 教育民生分科会

#### 派遣保育士の待遇は？

◆保育士派遣業務委託費

**問** 派遣保育士の待遇は会計年度任用職員に準ずるとのことだが、給与の面で差が生じることはないか。

**答** 給与条件は派遣会社によってさまざまだが、会計年度任用職員と均衡する処遇だと認識している。

**意見** 雇用方法にかかわらず、同一の仕事をしていれば同一の賃金を支給するよう配慮しながら取り組んでほしい。

※

この事業に関しては、分科会では採決は行わず、全体会へ審査を送ることとしました。

※ 誤りがありましたので、おわびの上、訂正いたします。  
(正)「分科会で可決すべきものと決した上で」

## 全体会

#### 私立保育園への支援は？

◆保育士派遣業務委託費（債務負担行為）

**問** 公立保育園に派遣保育士を配置することは、私立保育園や他自治体における保育人材の不足を引き起こす可能性がある。私立保育園への補助を充実させるな

ど、別の施策を講じるべきではないか。

**答** 私立保育園へは補助制度の新設や拡充を令和7年度に検討しており、保育士を確保し、市全体の待機児童を解消するために、公立保育園、私立保育園それぞれに向けた施策を展開していきたい。

## 代表質問から

代表質問は、市長が当選後に行った所信表明に対して、市議会の各会派が考えをたずめます。その主な質問と答弁の内容をご紹介します。

- ・ 質問等の詳細は、市議会ホームページの「インターネット録画中継」または「会議録（次の2月定例会月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。
- ・ QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

### 代表質問した議員と項目（質問順）

市民目線の会	小林 博次	市長の所信表明に関連して
新風創志会	平野 貴之	市長所信表明について問ふ
フューチャー四日市	樋口 龍馬	市長の所信表明に関して
公明党	荒木 美幸	市長の所信表明について ～未来をつくる・暮らしを支える・いのちを守る～
政友クラブ	川村 幸康	市長の所信表明について

## 市政運営

## 今後の四日市市政を問う



市民目線の会  
こばやし ひろつぐ  
小林 博次

**議員** まちづくりの原動力として、市民の健康意識の向上や運動の実践が重要であり、併せて、健康寿命を延ばし、健康に関する知識を学ぶことが必要である。高齢者の認知症予防や子育て世代の悩み解消のために、地域での居場所づくりが必要ではないか。

**市長** 健康寿命を延ばすために、若い頃から健康に関心を持ち、日常生活で楽しみながら健康づくりができるよう、企業や働く世代への取り組みを進めている。高齢者の介護予防として、定期的な介護予防教室や出前講座の開催のほか、ふれあいいきいきサロンなど住民主体の活動を支援し、地域での居場所づくりに取り組む。

**議員** 産業文化都市の実現に向けて、交通渋滞解消に向けたインフラの整備、企業の誘致を行うとのことだが、産業用地が不足しており、用地の確保が急務である。また、目前に迫っている自動運転の普及に備え、積極的な道路整備をすべきではないか。

**市長** 北勢バイパス沿線の産業用地の確保により、製造業等の企業の誘致を図る。また、渋滞解消に向けて広域道路ネットワークの整備や生活道路における狭あい道路の整備などを行う。自動運転は中心市街地での定常運行を目指し、郊外部では道路整備の状況等を考慮し検討する。

**議員** 本市の不登校児童数が急増しており、教育委員会だけでは対応しきれない現状がある。教育機会確保法の観点から、フリースクール等の民間団体と連携し、学校が嫌いな子どもを無理に学校に戻すのではなく、学校以外の場所で教育機会を確保すべきである。

**市長** 児童生徒に応じた適切な支援が必要であり、登校サポートセンターを核とし、校内ふれあい教室の設置やオンライン学習の活用など多様な学びの場の提供を進める。また、フリースクール等民間施設団体との連絡会を立ち上げ、情報共有や意見交換を行うとともに、先進事例や補助金等の制度について調査研究を進める。

**議員** 夜間中学の設置など学びの多様化を早急に進めることが必要である。



ふれあいいきいきサロンでの活動の様子



市政運営

市民もペットも快適に暮らせる四日市を目指して



新風創志会  
ひらの たかゆき  
平野 貴之

**議員** 保育園等の待機児童が生じている背景には、企業の人材不足により、女性の早期職場復帰を求める企業が増え、低年齢児の入園希望が増えているという要因もある。妊娠期の早い段階から相談を受けるとともに、企業が海外人材を雇用しやすい環境を整備すべきではないか。

**市長** 令和5年3月から出産、育児に対し伴走型相談支援を実施しており、妊娠早期から面談を実施し、職場復帰の相談や、保育園等の情報提供や案内を行っている。また、企業の働き方改革への支援とともに、人材確保の支援として、就職フェアへの出展や外国人留学生のインターンシップの受け入れ等への支援を行っており、今後も市内の経済団体と連携し、支援していく。

**議員** 公立小中学校の体育館への空調の整備を多くの市民が要望している。災害時の避難所としての機能も考慮すると、早期の実現が求められる。空調が未整備な特別教室への空調整備を含め、具体的な実現時期を示すべきではないか。

**市長** 空調の整備は、近年の危険な暑さに対応

した学習環境の確保や、避難所の環境改善にもつながる。令和8年度末までに小中学校の体育館、武道場のほか、空調が未整備な特別教室へ空調の整備が、一括して完了するよう取り組んでいく。

**議員** 被災地が早期に復旧するためには、経験豊富な災害ボランティアに継続的に従事してもらうことが重要であるため、被災地付近に長期滞在できるベースキャンプの設置が必要ではないか。また、ペットの避難に理解が得られるよう、ペット同伴避難訓練で得られた経験を地域の防災活動に広げていくべきではないか。

**市長** 災害ボランティアの活動拠点の設置は、移動などの負担軽減、活動環境の向上により、被災者の迅速な生活再建につながるため、受援体制の見直しに合わせて検討したい。また、指定避難所でのペット対応マニュアルの作成とペットの受け入れ対応がスムーズに行えるようスターターキット配置の支援を進め、地域と共に災害を乗り越えられるよう、努めていく。



市政運営

市長の所信表明から今後の市政運営について問う



フューチャー四日市  
ひぐち りょうま  
樋口 龍馬

**議員** 姉妹都市のロングビーチ市を令和6年に訪問した際、中断している市立四日市病院の医師をロングビーチ市の医療機関へ派遣する事業の再開を望む声があったが、市の考えはどうか。また、国際交流に関心のある両市の市民が緩やかに交流できる環境を整備できないか。

**市長** 医師の派遣交流は、医療技術や人材育成に寄与するため、再開に向けて検討する。市民レベルの交流は、四日市国際交流センターや、これまで本市の国際交流に関わった人との連携を強化し、姉妹都市交流をより活発にしたい。

**議員** 中学校の休日の部活動の地域移行を地域のスポーツ振興のきっかけと捉え、継続的にスポーツができる環境を整備すれば、健康寿命の延伸等にも寄与すると考える。部活動地域移行にどのように取り組むのか。また、部活動地域移行の受け皿となる総合型地域スポーツクラブ（※1）への支援をどのように考えているのか。

**市長** 部活動地域移行は、希望するすべての生徒が活動できるよう、拠点型活動方式（※2）や総合型地域スポーツクラブ等による活動に、中学生が参加する方式を柱に進める。また、総合型地域スポーツクラブについては、地域のスポーツ振興に重要と考えており、立ち上げに関する相談のほか、安定した活動ができるよう、

各種補助制度を通じ、継続的に支援していく。

**議員** JR四日市駅周辺の東西の移動について、JR四日市駅に自由通路が設置できれば徒歩での移動はスムーズになるが、周辺の踏切待ちによる自動車の渋滞問題も考える必要がある。また、国道1号でも車線が減少する区間等で渋滞が発生しているが、渋滞の解消に向けて市はどのように取り組むのか。

**市長** JR四日市駅付近では、国道164号とJR関西本線の立体交差化の検討と、三重橋垂坂線の工事着手を予定している。国道1号については、北勢バイパスと県道四日市鈴鹿環状線のバイパス道路の整備により、渋滞の緩和が期待される。今後も国や県、交通事業者等と連携し、渋滞緩和に向けた取り組みを進める。



令和5年度に本市と姉妹都市提携60周年を迎えたロングビーチ市の市街地



※1 多目的、多世代、多志向という特徴を持つ、地域住民により自主的かつ主体的に運営されるスポーツクラブ  
 ※2 競技種目ごとに拠点となる活動場所を定め、どの学校の生徒も参加できる活動方式

市政運営

未来をつくる・暮らしを支える・いのちを守る



公明党  
あらい みゆき  
荒木 美幸

**議員** 小中学校の体育館は子どもたちの学びの場であるとともに、避難所としての機能も求められる。近年の猛暑の状況や、災害は季節を選ばず起こることを鑑みると、空調の整備は命につながる大切な視点である。全小中学校の体育館および武道場の速やかな空調の整備を、財源も含め、どのように進めるのか。

**市長** 空調の整備は、児童生徒の快適な学習環境の確保や避難所の環境改善にもなる。国の補助を受けるには断熱改修が必須であり、工事の長期化や高額な費用負担が課題となるが、断熱改修を行わずに整備した場合においても一定の効果が見込まれることから、国の補助を受けずに、令和8年度末までに空調の整備を進める。

**議員** 交通空白地域の移動手段の確保に向け、今年度からA I 活用型乗合デマンド交通（※）の実証実験が始まった。市街化調整区域、市街化区域を問わず、交通弱者からの悲痛な声は絶えないが、今後、運行区域を拡大していくのか。

**市長** 都市総合交通戦略では、交通空白地域に

※ A I (人工知能)が予約状況に応じて、最適な運行ルートを実タイムに決め、乗降場間を乗り合いで運行するサービス

おける予約型乗り合いタクシーなどの対策を進め、移動手段の確保に努めることとしている。A I 活用型乗合デマンド交通の他地区への展開については、今回の実証実験の検証結果や、既存の公共交通を含めた地域特性も踏まえ、最適な移動手段を幅広く検討し取り組んでいく。

**議員** 市長は8年間市役所各部署の朝礼に参加し、自らの思いを職員と共有してきたと述べている。市役所改革を進めることで、風通しが良く、心をつなげる組織になれば、そこから市民が満足できるサービスが生まれると考えるが、職員の対応について市民から厳しい声を聞くことも多い。全職員が市民に寄り添える風土を市長が率先して醸成すべきと考えるがどうか。

**市長** 風通しの良い職場づくりが、ひいては市民サービスの向上につながることは強く認識しており、職員と直接コミュニケーションを取る機会をつくっている。市民サービスの向上という目的を持ち、引き続き職場環境の改善を進め、市役所改革に取り組んでいく。



市政運営

市が事業を進める上での意思決定について問う



友友クラブ  
かわむら ゆきやす  
川村 幸康

**議員** 新図書館の整備などの市の事業を進める際には、市長が把握した上での意思決定がしっかりとなされているのか。素早く判断し、次の施策に取り組むことも重要だが、市民の代表である市議会の意見を聞き、柔軟に対応する姿勢も必要ではないか。市議会に対して十分な説明をしないまま事業を進めたり、事業を断念する基準を事前に設けずに事業を進めると、いずれ取り返しのつかないことになるのではないのか。

**市長** 市が実施する各種事業については、推進計画に計上し、重点的に取り組む事業や社会情勢を踏まえて新しく取り組む事業など、それぞれの事業ごとに庁内で議論を重ね、メリットやデメリットと代替案の検討結果などを考慮し、意思決定を行っている。また、議会に対しては、議員説明会や全員協議会で丁寧な説明を行い、関連する予算が認められた上で事業を実施している。今後も議会に対して、分かりやすく、丁寧な説明に努める。

**議員** 市は調査を基に意思決定をするが、予算審査までに調査結果を議会に報告しなければ無意味だ。ビッグプロジェクトについては、検討状況や方向性について丁寧な説明があつてしかるべきである。また、事業を進めるに当たっての事前の調査不足により、例えばハーフマラソ

ンについても、公式認定の大会に関する情報が不足したことで、正しい政策判断ができなかったのではないのか。新たなランニングイベントは、誰とどんな協議をして、内容を決めていくのか。

**市長** 市民や議会からランニングイベントの再開を求める意見が多数あることから、令和7年度の開催に向けて、新たなランニングイベントを検討している。検討に当たり、コース沿線の地域住民や企業に説明を行い、スポーツ団体や警察署など関係各所と調整し、ハーフマラソンの中止に至った経験を生かして計画する。

**議員** 市民にとって良いまちにしたいという思いは、市も議会も同じである。市長が素早くかつ冷静に判断できるように、両副市長が情報収集をサポートし、政策を決定してほしい。



過去の四日市シティロードレースの様子



## 一般質問した議員と項目（質問順）

上 麻理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料高騰における学校給食は大丈夫？</li> <li>・公共施設マネジメント ― 公共施設の現在・過去・未来 ― そしてこれから新設される公共施設の在り方について 見えない未来の為に今やるべきこと</li> </ul>
荻須 智之	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大矢知・平津事案の跡地の管理について</li> <li>・なぜ中央緑地公園水泳競技場は再建されないのか？</li> <li>・当市の水道水、学校給食は安全と言えるのか？</li> </ul>
森 康哲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市市自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例の現状と課題について</li> <li>・リニューアルした四日市市防災教育センターと地震体験車について</li> </ul>
笹井 絹予	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心なまちづくりと市民のための利便性</li> </ul>
笹岡秀太郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「稲葉三右衛門翁」の偉業を後世に</li> <li>・「育成就労」改正法について</li> </ul>
伊世 利子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電の設置について</li> <li>・空き家の活用について</li> <li>・市立四日市病院の患者中心の医療について</li> </ul>
小田あけみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の所有するグラウンド等の整備について ～ スポーツをすることもたちのための練習環境の整備</li> <li>・こどもまんなか社会とは？ ～四日市のこどもたちにとっての意味を問う</li> </ul>
村山 繁生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道の漏水対策について</li> <li>・人事異動「職員の自律的なキャリア形成」に向けて</li> </ul>
加納 康樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これからの市営住宅の在り方について」 ～ 長寿命化、入居停止後の対応、管理の民間委託～</li> </ul>
谷口 周司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今こそ「四日市コンビナート支援」</li> <li>・教職員の働き方を考える！！</li> <li>・「伊坂ダム」に更なる魅力を！！</li> </ul>
山田 知美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無戸籍者支援の推進について</li> <li>・市民の安全を守る防災支援の選択肢</li> <li>・多様性と実用性を考える中学校制服の見直しについて</li> </ul>
辻 裕登	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇中のこどもの預け先について</li> <li>・自治会のデジタル化が進む仕組み作りを</li> </ul>
早川 新平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市市の津波対策について</li> </ul>
今村 厚美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この施設をもっと早く知りたかった ～ こどもの健康・発達の相談について～</li> </ul>
水谷 一未	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもファーストの四日市であるために</li> </ul>
田中 徹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員のなり手不足対策について ～ 民生委員活動のPRと活動軽減策～</li> <li>・「四日市で働こう！」 四日市市奨学金返還支援事業について？ 四日市の奨学金について？</li> </ul>
太田 紀子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の人材確保のために働く環境の整備と改善を</li> </ul>
村上 暁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険</li> <li>・有機フッ素化合物（PFAS）について</li> </ul>
山口 智也	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅における迷惑駐車について</li> <li>・子どもの発達支援における医療提供体制の構築について</li> <li>・「デジタル回覧板」導入に関するその後の検討状況について</li> </ul>
森 智子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お茶の未来を考える</li> <li>・プラごみ削減でエコな暮らしを大応援 ～非接触型冷水器の設置を～</li> </ul>
樋口 博己	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における、自宅での避難と避難状況の見える化 ～ 命を守る、耐震化・感震ブレーカー～</li> <li>・特殊詐欺から市民を守る</li> </ul>
中川 雅晶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが輝く公教育について ～ 学びを変える未来の学校をめざして～</li> </ul>

## 一般質問から

一般質問は、定例会議会において、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

11月定例会議会は、22人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁をご紹介します。

- ・ 質問等の詳細は、市議会ホームページに掲載している「インターネット録画中継」または「会議録（次の2月定例会議会ごろに公開予定）」をご覧ください。
- ・ QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます。（視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）

### 公共施設

## 今後の公共施設の在り方にまちの声を反映させよ



政友クラブ  
かみ まり  
上 麻理

**議員** 市立四日市病院等の大規模公共施設の建て替え時期が近づいている。人口減少と少子高齢化が進む中で、令和19年度以降、公共施設の維持、更新の必要額が支出可能額を上回るとのシミュレーション結果が示された。今後の公共施設の適正な保有量について説明を求める。

**財政経営部長** シミュレーションでは、すべての既存施設を現在と同水準で40年後も維持、更新する場合、令和19年度以降は更新費用が大幅に増加し、財源が不足する見込みである。今後40年間の必要額は3910億円で、支出可能額とアセットマネジメント基金を合わせても867億円が不足する。この不足を補うには市民1人当たり年額7648円の負担増が必要となる。市民の負

担が増加しないよう、既存施設の面積削減で対応する場合、22.2%の面積削減が必要となる。

**議員** 「公共施設マネジメントに関する基本方針」の策定により、廃止する施設は原則として除却することとなった。廃止した施設や跡地の売却先については、地域の要望を考慮するのか。

**財政経営部長** 楠ふれあいセンターでは、高齢者の生きがいづくりという現施設の設置目的と地域要望が一致するため、高齢者福祉等の事業者を活用してもらうことを調査、検討している。

**議員** 地域住民の居場所となる施設の在り方を検討する際は、費用対効果と、その地域の利用者など「まちの声」の両方を考慮して検討を進めてもらいたい。



### 四日市港

## 稲葉三右衛門の功績を未来へつなげ



政友クラブ  
さきおかしゅうたろう  
笹岡秀太郎

**議員** 本市は四日市港を中心に栄えた街である。その四日市港の基礎を完成させた稲葉三右衛門(以下、稲葉翁)の功績を子どもたちがより深く学ぶためには、資料で学ぶだけでなく、現地で偉大な足跡をたどることが大切ではないか。

**教育長** 稲葉翁の功績等は、小学4年生の社会科で副読本を使って学習しているが、ゆかりのある場所や史跡を実際に訪れて調査・体験学習をすることは、子どもの学びを深め、地域への愛着を高めることにつながると考えている。

**議員** 中央通り再編事業に合わせて、稲葉翁の銅像をふさわしい場所に移動させたり、銘板を設置したりするなどの整備をすべきではないか。

**都市整備部長** 稲葉翁の銅像は、市民や企業の寄付により建てられた。銅像の建設には関わった大勢の有志の思いが込められており、場所を変えることは考えていない。中央通りの整備に合わせて、稲葉翁の功績や銅像の建設経緯を分かりやすく伝えるような整備を検討する。

**議員** 四日市港で検討が進む霞4号幹線の延伸

計画に合わせて、みなとまちづくりの一環として旧港周辺を整備する際に、稲葉翁をテーマとした視点を取り入れてはどうか。

**政策推進部長** 四日市港の旧港周辺にある歴史的資源を活用しつつ、本市の発展の礎となる、近代四日市港の基礎を築いた稲葉翁の功績を折に触れて感じてもらえるような取り組みについて、関係機関と協議、検討したい。



J R 四日市駅前にある  
稲葉三右衛門像



## 運動施設

## 中央緑地水泳競技場に代わる新たな水泳競技場を



政友クラブ  
おぎす ともゆき  
荻須 智之

**議員** 四日市市総合体育館の建設に合わせ、平成28年度に中央緑地野球場と中央緑地水泳競技場が廃止された。その後、野球場は霞ヶ浦緑地公園内に再整備されたのに対し、水泳競技場は再整備されずにいるのはなぜか。

**シティプロモーション部長** 当時、四日市水泳協会と協議し、代替施設として霞ヶ浦プールを公認大会が開催できるように改修した。さらに、四日市市温水プールも、公認大会が開催できるように建て替え工事を進めているため、新たな水泳競技場の整備は検討していない。

**議員** 令和6年に霞ヶ浦プールで開催された学童水泳大会は、暑さ指数が基準を超えたため、競技が中止となった。屋外施設の霞ヶ浦プール

では、今後も同様の事態が起こり得る。また、建て替え中の四日市市温水プールは、競技の実施に必要なスペースが確保できない。令和17年度に三重県で開催が内々定した国民スポーツ大会に向け、市として一定規模の競技用屋内プールを整備する考えはないのか。

**シティプロモーション部長** 国民スポーツ大会については、施設整備を含む大会の開催方法の見直しが議論されている。市として、大会の開催を見据え、国や県の動向を注視していく。

**議員** 桑名市では、民間の資金等を活用することで、建設費や維持管理費を抑え、市単独で競技用屋内プールを整備している。本市も国民スポーツ大会を契機に、整備を検討すべきである。



## 自治会

## 市は自治会に寄り添った対応を



政友クラブ  
もり やすのり  
森 康哲

**議員** 本市では、令和2年に地域住民、自治会、事業者の役割や市の責務等を定めた「四日市市自治会加入の促進と自治会活動推進のための条例」を施行したが、自治会の加入の現状はどうなっているのか。

**市民生活部長** 本市の自治会加入率は条例施行以降約85%を維持しており、令和2年の全国平均71.7%を上回っているが、横ばいの状況である。近隣とのつながりが薄い集合住宅の増加やコロナ禍での地域イベントの自粛により、地域活動の必要性や住民の参加意識の認識等が希薄化していることが考えられる。

**議員** 自治会長の成り手不足も課題になっている。高齢化や住民の意識の変化に加え、自治会

長の責任の重さも成り手不足の大きな要因である。ある自治会活動について、自治会長が訴えられ、自治会長個人と連合自治会が多額の弁護士費用を支払う事案が発生したが、市は具体的な支援ができず、地域のために活動している自治会長個人に責任が集中している。これでは誰も自治会長を務められない。市は今回の事案を喫緊の課題と捉え、積極的に支援できないか。

**市長** 自治会は地域力の向上につながる重要な組織であり、市が支えていく必要がある。今回の事案を深刻に受け止め、さまざまな研究を重ねながら取り組みを進めていきたい。

**議員** 民間同士の問題に行政が関わることも必要である。自治会に寄り添った対応を強く望む。



## まちづくり

## 安心に暮らせるまちづくりを進めよ



政友クラブ  
ささい きぬよ  
笹井 絹予

**議員** 六呂見地区では、集中豪雨による浸水被害が多発している。計画中の六呂見調整池整備事業の進捗状況はどうか。

**上下水道局管理部長** 令和6年3月に事業認可を受け、測量や費用算定を進めている。詳細設計や用地取得の後、3年程度で整備予定である。

**議員** 四日市あすなろう鉄道泊駅（以下、泊駅）西部の丘陵団地には、約400人の後期高齢者が居住している。泊駅までの道には高低差があることから、移動が困難であることが課題である。泊駅西部の丘陵団地周辺でも、現在、河原田地区で実施しているAI活用型乗合デマンド交通（※）の実証実験を実施してはどうか。

**都市整備部長** 日永地区を含め交通空白地域に

おける移動手段の確保は必要と考えている。河原田地区の実証実験の結果や地域の特性、既存の付き添い支援サービスなどを考慮した上で、AI活用型乗合デマンド交通に限らず、最適な移動手段を検討していきたい。

**議員** 令和6年12月2日に紙の国民健康保険証の新規発行が停止され、マイナ保険証への移行が本格化する。本市の取り組み状況はどうか。

**健康福祉部長** 国民健康保険証更新時に案内リーフレットを同封したほか、広報紙やホームページ等で周知した。その結果、本市の国民健康保険加入者のマイナ保険証の登録率は令和6年10月時点で59.9%、その利用率は22.9%となっており、全国平均16.5%を上回る状況である。



※ AI（人工知能）が予約状況に応じて、最適な運行ルートを実タイムに決め、乗降場間を乗り合いで運行するサービス

## 市立四日市病院 患者に寄り添い、市民から選ばれる病院を目指せ



フューチャー四日市  
いせ としこ  
伊世 利子



**議員** 患者への病状の説明は医師の役目だが、市立四日市病院（以下、病院）では、医師の事務を補助する医師事務作業補助者が医師の代わりに病気の説明などを行っていないか。

**病院事業副管理者** 医師事務作業補助者は、事務的な説明や、必要に応じ、医師の説明を繰り返して確認するなどの役割を担っている。

**議員** 患者の不安を軽減することは、患者中心の医療に資すると考える。中立的な立場で、患者からの病気や治療に対する不安や疑問などに対応できる、専門の相談窓口の設置を以前から要望しているが、検討は進んでいるのか。

**病院事業副管理者** 専門の相談窓口の設置は、患者の安心と病院の信頼向上につながると考え

る。現在、他の同規模公立病院の情報収集に努めているが、職員の確保など課題も多く、専門相談窓口の設置には至っていない。

**議員** 患者の満足度を把握する患者満足度調査の結果と、患者意見箱に寄せられた意見をどのように業務改善に活用しているのか。

**病院事業副管理者** 患者満足度調査の結果は院内で共有し、接遇の改善などに役立てている。また、患者意見箱に寄せられた意見と病院の対応は、専用の掲示板で公表するのに加え、職員間でも共有し、患者満足度の向上や業務の改善に生かしている。

**議員** 患者に寄り添うことで、市民に選ばれ、満足してもらえる病院を目指してほしい。

## スポーツ スポーツを楽しむ子どもたちにより良い練習環境を



フューチャー四日市  
おだ  
小田あけみ



**議員** 公園内のグラウンドでスポーツ少年団の練習をしていて、子どもが草につまづいてけがをしたと市民からの相談があったが、市内にある公園はどのように維持管理しているのか。

**都市整備部建設担当部長** 除草や樹木の剪定、清掃等の業務をシルバー人材センターやNPO団体に委託しているほか、市民団体や自治会等の協力も得て適正な維持管理に努めている。

**議員** 各スポーツ少年団はスポーツ協会が事務局として統括しており、市が各団体の活動を直接管理していないことは理解するが、スポーツ推進計画には子どものスポーツ活動の推進の重要性が記載されている。市は練習環境の安全確保や少年スポーツの振興についてどう考えるか。

**シティプロモーション部長** 市内のスポーツ施設は、スポーツ協会が管理運営を行っている。また、各小中学校の体育館や屋外運動場は、学校施設開放運営委員会に管理運営を委託している。利用者が安全で快適に利用できるよう、利用者の意見も聞きながら、適切な施設管理に努めている。市では、子どもの体力向上とスポーツ活動の充実を基本方針としてスポーツ推進計画を策定し、多様な事業を実施している。スポーツ振興による活気あるまちづくりの実現のため、引き続き取り組んでいく。

**議員** 子どもたちが楽しく安全にスポーツの練習ができるよう、これからも練習環境の整備に取り組んでほしい。

## 水道 デジタルで水道の管理を効率化せよ



フューチャー四日市  
むらやま しげお  
村山 繁生



**議員** 水道管の漏水調査は、調査員が漏水探知機を使ってチェックしており、人材不足と技術継承が問題である。本市の漏水調査の経費はどれだけかかっているのか。また、年間の漏水件数についても確認したい。

**上下水道事業管理者** 漏水調査に約7900万円を計上し、市内全域の水道管2100kmを3年間で一巡できるように調査している。また、同規模の都市の年間漏水件数の平均が約500件であるのに対し、本市は約2000件となっている。

**議員** 福岡市などが実施している、人工衛星を用いて漏水を特定する方法や、人口や交通量などの統計データをAIに学習させて漏水場所を探す方法を本市も活用してはどうか。

**上下水道事業管理者** 今後、調査員の人材が不足した際、管路が密集していない地域では、人工衛星画像の活用が有効な手段になり得ると考える。本市が研究発表を行ったAI技術に加え、新たな取り組みとして研究したい。

**議員** 他市では、水道スマートメーター（※1）と防水無線送信機（※2）を各戸に設置し、データを集積することで、漏水の早期発見や1人暮らしの家庭の見守りにも役立てている。本市でも導入を検討すべきではないか。

**上下水道事業管理者** 視察した湖西市の水道スマートメーターの取り組みを参考に、令和7年1月から60台の水道スマートメーターを用いた実証実験を実施し、導入について研究したい。

※1 デジタル技術を活用して1時間ごとの水の使用状況を測定・記録し、遠隔操作によりデータを送信できる水道メーター  
※2 水場や屋外などの過酷な環境での使用を想定して、水や湿気の影響を受けにくいよう設計された通信機器

## 市営住宅 老朽化した市営住宅の今後は



フューチャー四日市  
かのう やすき  
加納 康樹

**議員** 城西町市営住宅と石塚町市営住宅は、どちらも築年数が経過し、老朽化が進行しているため、新たな入居が停止されている。すべての入居者が転居した後の、石塚町と城西町の市営住宅の跡地の利活用について、市の方針を確認したい。

**都市整備部建設担当部長** 城西町市営住宅は、住宅の除却が完了し、現在は更地となっている。石塚町市営住宅も、入居者が退去した住宅は順次除却を行っている。跡地の利用については、すべての入居者の移転が完了した後、市営住宅としての用途を廃止し、庁内で公共施設として有効活用できないか協議し、活用の予定がなければ、民間への売却を行う予定である。

**議員** 高齢の入居者にとって階段の上り下りは大きな負担であり、特に要支援や要介護の状態になった場合、その負担は増大する。市は、高齢の入居者が希望する場合に低層階へ移住できるような優遇措置を講じるべきではないか。

**都市整備部建設担当部長** 身体機能の障害など

で高層階の居住が困難な場合、必要書類を提出することで、低層階への転居を申し込むことができるが、新規の入居希望者への対応も必要であり、要支援や要介護の人を優遇することは現時点では困難である。しかし、今後は入居希望者が少ない低層階への高齢者世帯向け住宅に、単身の高齢者も入居できるように要件を見直し、入居者数を増やすよう取り組む。



城西町市営住宅の位置図 出典：三重県共有デジタル地図撮影成果(令和5年)



## 観光 伊坂ダムの魅力向上とインフラツーリズムの視点を



新風創志会  
たにくち しゅうじ  
谷口 周司

**議員** 令和6年8月定例月議会で、トイレトレーラー(※)の導入を求める一般質問に対し、平常時の管理方法や活用方法も検討する必要があるとの答弁があった。伊坂ダムサイクルパークの魅力を高めるため、立地の問題などでトイレの設置が難しい伊坂ダムサイクルパークの周遊コース西側で、イベント開催時などにトイレトレーラーを活用することで、利用者の利便性を向上させられないか。

**危機管理統括部長** トイレトレーラー等を導入した場合、イベント時などに実際に使用することは、災害時におけるトイレ環境や家庭における携帯トイレの備蓄の啓発などにもつながる。平常時の利用方法の一つとして、伊坂ダムにおけるイベント時の活用などについて、関係部局と検討していきたい。

**議員** インフラはつくって終わりではなく、どう活用するかが重要である。本市には、伊坂ダムのほかにも魅力的なインフラがある。巨大な構造物のダイナミックな景観など、インフラを

観光資源としても活用する「インフラツーリズム」の視点に立った取り組みが必要ではないか。

**シティプロモーション部長** 四日市観光協会による市内の工場夜景を周遊するバスツアーなど、本市の魅力観光資源として生かす取り組みを支援することで、インフラツーリズムに結び付けることが重要だと考える。引き続き、関係団体などと連携し、本市の魅力を発信していく。



八郷地区にある伊坂ダムサイクルパーク



※ 移動可能な仮設トイレを備えたトレーラー

## 木造住宅耐震化 防災対策にさまざまな選択肢を整備せよ



新風創志会  
やまだ ともみ  
山田 知美



**議員** 巨大地震への備えとして耐震化率の向上は重要だが、さまざまな事情で耐震化が難しい住宅や市民への柔軟な支援も求められている。耐震診断で自宅が危険な状態だと分かっても何も講じないのは、現在ある対策から選べないからではないか。耐震改修や住宅の除却以外の選択肢として、耐震改修より安価で、建物が倒壊しても内部の安全が確保できる、耐震シェルターの導入支援が有効だと考えるがどうか。

**危機管理統括部長** 耐震シェルターの設置補助制度を平成22年度から10年間実施していたが、実績は9件にとどまり、補助制度を廃止した経緯がある。耐震シェルターの導入支援については、県や他市町の状況を踏まえ、地区防災組織

等から意見を聞く中で、住宅の倒壊から命を守る対策の一つとして検討していきたい。

**議員** 令和6年能登半島地震の被害の教訓から防災意識が高まっている今こそ、市民が支援制度を受けられるよう関係部局が連携し、多様な支援や周知に取り組むべきではないか。

**都市整備部長** 今年度からは、これまで以上にイベントや個別訪問など、さまざまな機会や手段を活用し、周知啓発するほか、月2回、耐震化相談会を開催している。また、耐震診断を受けた後、耐震化が進んでいない所有者にダイレクトメールで耐震化を促している。今後、アンケート調査でニーズを把握し、部局間で連携して的確に支援できるよう取り組んでいく。

## 自治会 自治会のデジタル化を促進させよ



新風創志会  
つじ ひろと  
辻 裕登



**議員** 自治会では、膨大な書類の管理や回覧の準備に手間がかかることなどが課題である。金沢市は、アプリでの情報共有、会議の出欠確認などができる「結ネット」を活用している。自治会のデジタル化が進むことをどう考えるか。

**市民生活部長** 自治会の負担軽減や現役世代の参加を促すため、デジタル化は歓迎すべきことである。それぞれの自治会の年齢構成などにより、急速なデジタル化に対応できない場合があるため、市が一方的に推進するのではなく、自治会の意見を聞きながら促進していきたい。

**議員** 自治会に必要な機器を個人負担で購入した例を聞くが、地域社会づくり総合事業費補助金は、デジタル機器の導入を対象としているの

か。対象でなければ、デジタル機器を導入するための新たな支援策を検討してはどうか。

**市民生活部長** 地域社会づくり総合事業費補助金は、まちづくりに関する事業を支援するものであるため、機器は対象としていない。支援としては、Zoom（※）の使い方講座の開催やモバイルWi-Fiの貸し出しを行っており、今後も、自治会デジタル化の促進の方法を研究していく。

**議員** 自治会のデジタル化を推進するICT推進委員を自治会役員として設置し、地域の若い人材に担ってもらってはどうか。

**市民生活部長** 若年層の自治会への参画機会になり、担い手不足の解消の一助にもなる。今後も有効な事例を収集し、伝えていきたい。

※ 民間事業者が提供するパソコン、スマートフォンなどを使用してWeb上で会議を開催できるツール

## 災害対策 実効性のある津波対策を実施せよ



新風創志会  
はやかわ しんぺい  
早川 新平



**議員** 本市では一部の小中学校に鍵ボックス（※1）を設置しているが、他の自治体では、地震の震度が基準に達しなかったことで、津波注意報が発令されても避難タワーの入口が解錠されず、住民が避難できない事例があった。同様の事態を避けるために、鍵ボックスが自動解錠する基準の見直しや、避難場所の常時開放について考えを確認したい。

**危機管理統括部長** 小中学校や津波避難ビルに設置している鍵ボックスは、震度5弱以上の地震を感知すると自動的に開く設定である。解錠する基準の見直しについては、他自治体の事例を研究し、避難施設の管理者や地区防災組織等の意見を聞きながら検討する。小中学校の避難

階段入口の常時開放は、子どもたちの安全を守る観点や不法侵入などの防犯面の理由から、現時点では難しいと考える。

**議員** 浜園地区の荷さばき地に置かれたコンテナが津波により流出すれば、周辺地域に甚大な被害を及ぼす恐れがある。コンテナの設置場所や安全対策について、見直しが必要ではないか。

**政策推進部長** 四日市港管理組合は、万が一のコンテナ流出に備え、荷さばき地の使用者に柵を設置させるほか、四日市港BCP（※2）に基づく訓練等を行っている。市としても災害の激甚化等を想定した対策を同組合に求めている。

**議員** 民間事業者へ敷地を貸すのであれば、貸主の責任として十分な安全策を取ってほしい。

※1 内部に避難所の鍵などを保管しておき、設定した震度以上の揺れを感知すると自動で解錠され、内部の鍵を取り出せる仕組みの箱  
※2 大規模災害発生時に、港湾機能の早期回復を図るため、関係者間の目標や行動、協力体制を事前に明確化した計画

## 障害福祉

# 支援が必要な子どもと家族への支援体制の充実を



無党派  
いまむら あつみ  
今村 厚美



**議員** 保護者が子どもの発達に悩んだ際、支援が必要な子どもを少しでも早く療育へつなぐ相談体制を、さらに充実させることが重要である。本市に21カ所ある指定障害児相談支援事業所（以下、相談支援事業所）は、主に相談支援専門員が支援の必要な子どもたちに福祉サービスの利用計画の作成等を行い、一般相談の機能はないが、保護者が早い段階で専門性を有する職員に相談できる場や、保護者に寄り添える場として、相談支援事業所に協力してもらえないか。

**子ども未来部長** 一般的な発達相談は市の各担当所属が対応しているが、保護者が相談支援事業所に相談した場合も、相談支援事業所と連携し、必要な支援が早期に行えるよう努める。

※ 利用者の状態や年齢に応じ、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを支援すること

**議員** 障害児通所支援事業（※）のサービス利用料は、世帯の所得に応じて自己負担の限度額が定められている。自己負担が高額な世帯では、利用料を抑えるため、サービスの利用を控える場合がある。一方、独自に自己負担分に対し補助を行っている自治体がある。子どもたちの発達を促すのに必要なサービスが適切に受けられるよう本市も家庭の負担を軽減すべきでないか。

**子ども未来部長** 障害児通所支援事業のサービスは市内に限らず広域的に提供されるため、全国一律の制度となっている。利用者の受益と負担の公平性を考慮した持続可能な制度について、国の動向も注視しながら、他の自治体の事例を調査研究していきたい。

## 養育費

# 子どもの養育費確保の支援と周知の充実を



市民目線の会  
みずたに かずみ  
水谷 一未



**議員** 離婚後、子どもの養育費が支払われないという悩みを抱える人は多い。養育費は子どもの養育に必要な費用であり、支払われないと親だけでなく子どもにも大きな影響を及ぼす。養育費をきちんと受け取れるようにするためには、公正証書を作成し、養育費について明確に取り決めることが大事だが、市はどのように支援しているのか。

**子ども未来部長** 離婚時に両親が養育費に関して取り決めを行い、子どもが自立するまでに必要な費用として双方が認識することが非常に重要であるが、令和3年度に実施した子どもの生活実態調査では、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」との回答が最も多かつ

た。この結果を受け、養育費の取り決めに係る支援として、令和5年度から離婚時の公正証書の作成等に要する費用の一部を補助する事業を開始し、令和5年度は14件、令和6年度は上半期で16件の補助を行った。

**議員** 公正証書の作成の必要性や支援制度について、チラシやホームページを今より親しみやすいものに見直すなどして周知するとともに、離婚時の悩みは男女共通のものであるため、男女問わず相談できる体制を整備してほしい。また、公正証書を作成していても、養育費の支払いが滞る場合もある。養育費を確保するため、養育費立替支援事業を実施している自治体もあり、本市でも調査研究を進めてほしい。

## 奨学金

# 奨学金制度を充実し若者の定住促進を



市民目線の会  
たなか とひろ  
田中 徹



**議員** 四日市市奨学金は利用しやすく、とても良い制度であると考えているが、令和7年度は募集人数が50人で、令和6年度と比べて50人減少した。過去3年間と同様に100人で募集すべきではないか。

**副教育長** 過去3年間は新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰対策として国の補正予算による地方創生臨時交付金の措置が取られたため、これに合わせて募集人数を50人増やし実施した。令和7年度は、現時点で国による交付金措置や本市での追加の経済対策は行われていないため、制度開始時の定員である高校等、大学等で各25人の計50人を募集している。

**議員** 豊川市では、登録企業に就職した人に対

し、3年間で最大72万円の奨学金返還支援を行い、中小企業の人材確保を図っている。本市は、市内で就労してもらうため、どう取り組んでいるのか。また、奨学金の今後の展望はどうか。

**商工農水部長** 本市は、福利厚生を手厚くする企業への支援や、就職フェアへの出展費用の一部補助を行うなど、人材確保や従業員の定着に取り組む中小企業への支援を続けている。今後も、企業へのアンケートやヒアリングを継続し、企業の人材確保の支援を図り、奨学金については、他市の事例を参考に調査研究を進めていく。

**議員** 本市への定住、就職を促すため、奨学金代理返還制度（※）の周知を強化し、企業と奨学金を返済する若者への支援を進めてほしい。

※ 独立行政法人日本学生支援機構の貸与奨学金を受けていた従業員に対し、企業が返還金額の一部または全額を代理で返還する制度

## 保育士確保

# 保育士の職場環境を改善し人材確保につなげよ



日本共産党  
おのりこ  
太田 紀子



**議員** 令和6年度当初に72人の待機児童が発生したのは保育士不足が要因とのことだが、人材の確保のためには保育士の離職を防ぎ、長く働いてもらうことも必要である。保育士の離職の状況と要因について確認したい。

**こども未来部長** 本市の公立保育園、こども園の保育士の過去5年間の平均離職率は2.7%である。県の調査では、離職理由として、賃金、残業等の労働条件の不满が最も多く、職場の人間関係を理由とした離職も多い。離職を防ぐためには賃金や職場環境の改善のほか、メンタルヘルス向上の取り組みが重要と考えている。

**議員** 厳しい職場環境にある保育士の働き方を見直そうと、ノンコンタクトタイムの取り組み

が注目されている。ノンコンタクトタイムとは、保育業務時間中に子どもから離れ、書類作成やミーティングなど、普段の保育業務時間中にはできない業務を集中して行う時間である。単なる事務作業効率の向上だけでなく、保育士が心を落ち着かせる時間を持つことで業務のストレスの解消になり、保育の質の向上にもつながることが期待されている。本市でもノンコンタクトタイムを導入してはどうか。

**こども未来部長** 職場環境の改善のため、担任を持たず広く業務を行うフリー保育士の配置など、ソフト面での支援を検討している。ノンコンタクトタイムについては、実施スペースの改修費用補助などの先行事例を研究していく。

## 自治会

# デジタル回覧板の早期導入への取り組みを進めよ



公明党  
やまぐち ともや  
山口 智也



**議員** 令和6年6月定例月議会でデジタル回覧板の導入について質問したところ、比較的若い世代を中心に大きな反響があった。自治会がスマートフォンなどで、地域住民への文書配布や、行事の出欠確認などが簡単にできるデジタル回覧板の導入について、自治会のニーズを把握し、地区市民センター館長会分科会で調査研究を行うとの答弁があったが、進捗状況はどうか。また、四日市市自治会連合会等の理解を得た上で、まずは、市の回覧物のデータを各地区へ提供し、積極的な活用を依頼するのと併せて、より具体的に検討を進めるべきではないか。

**市民生活部長** 先進事例の調査研究を行うとともに、市内の自治会のデジタル化の状況を把握

し、検討を進めている。四日市市自治会連合会や各自治会からは、スマートフォンなどを持っていない住民のため従来の回覧板と併用することになり手間がかかる、住民間のコミュニケーションの希薄化が進む恐れがあるなどの意見がある一方、比較的若い世代からは、自治会活動を維持するためには、デジタル化は必要との意見もあった。令和7年度から従来の紙の回覧物に加え、データも各地区へ提供することを検討しており、できることから取り組みを進めつつ、引き続き調査研究を進めていく。

**議員** 今後、自治会活動を担う若い世代が参画しやすい環境の整備という点でも、自治会に積極的に提案し、早期の導入を進めてほしい。

## 茶業振興

# 茶業の将来を見据え、新たな視点で産地を守れ！



公明党  
もり ともこ  
森 智子



**議員** 急須を使ってお茶を飲む人が減少するなど、茶業を取り巻く環境は厳しい。本市のかぶせ茶の魅力が未来へ伝えるには、普段から子どもたちにお茶を飲んでもらう機会を増やし、おいしいと実感してもらうことが重要である。市はイベントなどでお茶を飲む機会を設けているが、どのような効果があったと考えているのか。

**商工農水部長** イベントなどでかぶせ茶の試飲やティーバッグを配布しているほか、茶業関係者と連携して、幼稚園や小学校でお茶についての講座を実施している。こうした事業の効果を測ることは難しいが、市内の子どもたちにお茶に親しむ機会を設けることで、将来、かぶせ茶の普及と消費拡大につながると考えている。

**議員** さまざまな食品への利用が広がっている抹茶は、かぶせ茶のような飲料用のお茶とは異なる製法で茶葉を加工した「てん茶」が原料となる。抹茶の需要は世界的にも非常に高いことから、てん茶の製造にも力を入れるべきだと考える。茶農家が新たに大きな設備投資をする余裕がない中、産地を守るため、市がてん茶工場の整備に向けて積極的に取り組んではどうか。

**商工農水部長** 新たなてん茶工場の整備は、茶業の将来の展望を描く中で、既存の事業者から意見を聞き取った上で、製茶工場の統合や再編も念頭に置いて検討する必要がある。引き続き、本市の茶業を持続可能なものにするための有効な対策について関係者と協議していく。

## 国民健康保険

# 公平で利用しやすい国民健康保険制度へ



日本共産党  
むらかみ さとる  
村上 暁

**議員** 被用者保険では、子どもなど収入のない被扶養者の保険料は無料だが、国民健康保険では均等割分の保険料が加算される。加入している保険制度によって保険料の負担が変わるのは不公平である。子育て家庭に優しいまちを実現するため、18歳未満被保険者の国民健康保険料の均等割を減免すべきではないか。

**健康福祉部長** 国は、特定の対象者に画一的な基準を設けての減免は適切ではないとしている。また、市独自の減免制度を設けることは、減少した保険料を補填する財源の確保に課題がある上、都道府県単位で保険料を統一しようとする広域化の趣旨に合わない。一方、子育て世帯の負担軽減は国として取り組むべき課題であり、子どもに係る均等割の軽減を国へ要望していく。

**議員** マイナ保険証で受診する場合、従前の健康保険証で受診するのに比べ、本人認証などの手続きが増える。このため、従前の健康保険証とほぼ同じ手続きで受診できる資格確認書(※)での受診を希望する被保険者もいる。市はマイ

ナ保険証の利用を勧めるだけでなく、希望すればマイナ保険証の登録を解除できることも積極的に周知すべきではないか。

**健康福祉部長** 資格確認書で従来通り医療を受けられることや、マイナ保険証の登録を解除できることなどは市ホームページで案内している。マイナ保険証は質の高い医療の提供などに欠かせないため、今後も利用啓発に努める。

マイナ保険証をお持ちでなくても  
資格確認書によりこれまで通り医療にかかれます

マイナ保険証を使わない場合の実践方法

- 2024年12月2日以後は、「資格確認書」でもこれまで通り医療にかかれます。
- マイナ保険証をお持ちでない場合、マイナ保険証の申請は不要です。
- マイナ保険証をお持ちでない場合、マイナ保険証の申請は不要です。
- マイナ保険証をお持ちでない場合、マイナ保険証の申請は不要です。

マイナナンバーカードでのカードリーダーの操作が上手くいかなくても、医療費が10割負担になることはありません。

0120-95-0178

出典  
厚生労働省ホームページ  
(<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001332487.pdf>)

マイナ保険証を使わない場合の受診方法を周知するリーフレット



※ マイナナンバーカードを取得していない、または健康保険証として登録していない場合等に保険資格を証明するもの

## 特殊詐欺

# 特殊詐欺や闇バイトから市民を守れ



公明党  
ひぐち ひろみ  
樋口 博己

**議員** 特殊詐欺の件数は年々増えており、本市でも令和5年は1億6350万円の被害が発生した。令和6年はSNS型投資詐欺、ロマンス詐欺が爆発的に増加している。相談することでほとんどの被害が防止できるため、不審に思ったらすぐに誰かに相談することが重要だが、本市の啓発活動や相談体制はどうか。

**市民生活部長** 特殊詐欺の被害の約半数が高齢者のため、民生委員・児童委員に高齢者への注意喚起を依頼している。また、SNS型投資詐欺、ロマンス詐欺は幅広い年代が被害に遭っていることから、安全安心防災メールや市ホームページなど電子媒体を活用して注意喚起している。加えて、令和5年度から被害防止に有効な自動通話録音警告機の設置補助を開始した。市では、市民・消費生活相談室でさまざまな相談に対応しており、特殊詐欺が疑われる場合には、相談員が注意喚起するとともに、警察や金融機関等へ連絡している。さらに、法的な対応が必要となった場合には、週1回の無料弁護士相談

で対応できるよう相談体制を構築している。

**議員** 闇バイト(※)については情報発信しているのか。

**政策推進部長** 闇バイトの多くが若年層を対象としていることから、SNSや動画サイトを活用した情報発信を行っている。

**議員** 市は、県や警察よりも市民に身近な相談機関として適切に対応し、被害を防いでほしい。



ちょっと待って!  
それ、特殊詐欺かも!?

現在、特殊詐欺の被害が急激に増加しています。「自分も被害者ではない」と思っている人は注意! 被害の半分以上は未然に防ぎ、被害を軽減しましょう。

特殊詐欺発生状況(年度別)

年度	発生件数	被害総額(万円)
令和5年度	1,234	163,500
令和4年度	987	120,000
令和3年度	765	90,000

おまかせ「カード」電子マネーを要求する勧誘の疑は、詐欺を疑って!

ネット通販詐欺  
インターネットを介して、商品やサービスを購入する際に、詐欺師が偽りの商品やサービスを提供し、被害者から金銭を搾取する手口です。

旅行詐欺  
旅行会社や旅行代理店を名乗って、旅行代金を徴収し、旅行がキャンセルされるなどの被害が発生しています。

自動通話録音警告機設置補助  
特殊詐欺の被害を未然に防ぐために、自動通話録音警告機を設置する補助を行っています。

0120-95-0178

広報よっかいち令和6年4月上旬号の特殊詐欺特集

※ SNSやインターネット掲示板でアルバイトと称して募集し、特殊詐欺や窃盗などの犯罪に加担させること

## 教育 子どもが輝く未来の学校を目指して



公明党  
なかがわ まさあき  
中川 雅晶

**議員** 全員が同じ内容の授業を受ける従来の教育から、一人一人が自分の強みを発揮できる教育へ転換するには、探究的な学習を模索、追求する必要がある。探究的な学習の取り組みとして総合的な学習の時間があるが、子どもたちにとって主体的、対話的、協働的で深い学びになっているか、また、その実現のための体制や環境が整っているかが問われている。総合的な学習の時間を含め、すべての教科で探究的な学習をさらに拡充する考えはないか。

**教育長** 子どもたちが自ら課題を解決していく力を育成するために、探究的な学習は有効だと考える。総合的な学習の時間の充実に加え、すべての教科の学習でも、探究的な学習の考え方

を取り入れるため、令和7年度から研究推進校を指定し、重点的に研究を行いたい。

**議員** 先進事例も参考に、学校教育ビジョンおよび新教育プログラムなどに、探究的な学習を明確に位置付け、公教育改革を進めるためのプロジェクトチームを設置すべきではないか。

**教育長** 研究推進校の指定に加え、学校の教員、大学教員等の専門家、教育委員会で構成する推進会議を設置し、三位一体の体制で実践的な研究に取り組む。探究的な学習を普通の学習に取り入れることは重要であり、研究推進校の取り組みの結果に加え、国の動向や先進事例を参考に、次期学校教育ビジョンに探究的な学習をどのように位置付けるのか検討していく。



## 11月定例会議会の議案に対するご意見

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。主なご意見の概要は次のとおりです。

詳しくはホームページへ



### ◆公共施設案内・予約システム再構築業務委託費

3件

・システムの再構築が必要なことは理解するが、費用が高過ぎるのではないか。

### ◆移動図書館車整備事業費

4件

・車両が小さくなると積載できる本の数が減少する。本を必要としている市民のために、中型タイプの移動図書館車を追加で整備してはどうか。

### ◆工事請負契約の締結

－文化会館空調設備ほか更新工事－

工事請負契約の締結 －文化会館改修工事－ 1件

・建て替えを行う場合、どれぐらいの費用になるのか。また、あと何年この施設を使う予定なのか。

### ◆総合交通戦略推進事業費

4件

・JR四日市駅周辺の線路を高架化した方がよい。  
・事業の目的、市民にとってのメリット、費用対効果を明確にすべきだ。

2月定例会議会は、2月6日(木)に市議会ホームページ(<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>)に議案と資料を掲載し、2月21日(金)までご意見を募集する予定です。

皆さんからのご意見をお待ちしています。

## 2月定例会議会の予定 (日程は都合により変更する場合があります)

月	日	内 容	開始時刻
2	12(水)	本会議 初日(議案説明 ほか)	午前10時
	19(水)	本会議(代表質問)	
	20(木)～21(金)	本会議(一般質問)	
	25(火)～26(水)		
	27(木)	本会議(一般質問、質疑・委員会付託 ほか)	
	28(金)	各常任委員会／予算分科会 * 予備日は5(水)	
3	3(月)～4(火)	予算常任委員会全体会 * 予備日は14(金)	午後1時
	10(月)～13(木)		
	25(火)	本会議 最終日(委員長報告・採決 ほか)	

※委員会は審査の進み具合により、予定より早く終了する場合があります。  
※代表質問と一般質問の模様をCTY122ch(サブチャンネル)で放送する予定です。  
※本会議と委員会は市議会のホームページで生中継し、録画中継もご覧いただけます。

# ワイ！ワイ！GIKAI

常任委員会の委員が市内の学校等を訪問して、学生など若い世代の方と意見交換を行う「ワイ！ワイ！GIKAI」を開催しました。

## 産業生活常任委員会

11月6日に四日市商工会議所青年部と「防災・減災」「バスタ整備」「ふるさと納税」について意見交換を行いました。



## 教育民生常任委員会

11月25日に中部中学校3年生と「公共施設、教育施設」「交通機関・公道」「駅周辺」「商店街」について意見交換を行いました。



## 8月定例月議会 議会報告会

10月22日に議会報告会、シティ・ミーティングを開催しました。いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動や市政発展への参考とさせていただきます。

◆各会場での主な内容を要約してご紹介します。詳しくはHPへ→



### 議会報告会

**問** 父親同士のつながりの形成を目指す「よかパパひろば」の取り組みがあるが、母親向けの仕組みも必要ではないか。

**答** 母親同士のつながりを形成する仕組みも増やせるよう、委員会でも議論し、行政に伝えていきたい。

### シティ・ミーティング

**問** 公立と私立の保育園の保育士の給料を同水準にしている自治体もある。四日市市の保育士の待遇を改善するよう行政に働き掛けてほしい。

**答** 保育士不足が待機児童発生最大の要因であり、議会でも引き続き議論していく、また、保育士として長く仕事を続けられる環境を整えることも市に求めていきたい。

## 次回の議会報告会のお知らせ

2月定例月議会の議会報告会を3月27日と3月29日に開催します。

第1部の議会報告会では議案の審査の内容について報告します。第2部のシティ・ミーティングでは市民の皆さんと意見交換を行います。

事前申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

### 第1部：議会報告会 第2部：シティ・ミーティング（意見交換会）

日時	<b>3月27日(木) 18:30~20:30</b>	<b>3月29日(土) 14:00~16:00</b>
会場	総合会館 7階 視聴覚室	あさけプラザ 2階 第4・第5展示会議室

※手話通訳、要約筆記します（事前予約は不要です）。

※状況によっては、予定時刻よりも早く終わる可能性があります。

※気象状況などによっては開催を中止する場合があります。なお、開催を中止する場合は、市議会ホームページやSNSでお知らせいたします。



市議会をもっと  
良くしたい!

# 市議会モニター をしてみませんか!

市議会に  
関わってみたい!



## 市議会モニターって何?

市民の皆さんに「市議会モニター」として登録していただき、可能な範囲で市議会を傍聴したり、CTYやインターネット（ライブ中継・録画）で議会の様子を視聴したりする中で、市議会の運営等に関する要望や提言、意見をお寄せいただくほか、意見交換会への出席やアンケートの回答などの活動をお願いするものです。

## どんなことをするの?



市議会の運営等についてご意見をお寄せください!これまで、「傍聴手続きをもっと簡単にしてほしい」「議会だよりにQRコードを掲載すると便利」などのご意見を受け、改善につながった事例があります。

このほか、研修会や意見交換会などへの可能な範囲での参加や議会に関するアンケートへの回答などをお願いしています。

- **委嘱式**  
議長から、委嘱状をお渡しします。議場見学もできます。
- **研修会**  
議会のことが分からなくても大丈夫です! 議会の仕組みや会議の流れをご説明します。
- **意見交換会**  
テーマに沿って議員と意見交換ができます。(今年度の詳しい内容は21ページを参照)

## 令和7年度 市議会モニター募集

## Wanted! Join us

### 【活動内容】

- (1) 議会運営に関するご意見をいただきます。
- (2) 本会議や委員会等を可能な範囲で傍聴・視聴し、ご意見や提言を提出してください。
- (3) 研修会や意見交換会を年1回程度開催しています。議会運営に関する疑問やご意見をお聞かせください。
- (4) その他、アンケートへの回答や議会から依頼する内容についてご意見をいただく場合があります。

【募集人数】 10人程度

【資格】 満18歳以上の市内在住者（公務員、各議会議員、市の行政委員は除く）で、市議会の仕組み・運営や、市政・地域社会の発展に関心がある方

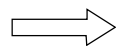
【選考方法】 年齢・性別・居住地等に著しい偏りの生じないよう考慮します。

【任期】 1年。ただし、再任（2回まで可）していただくことができます。

【応募方法】 住所・名前（ふりがな）・性別・年齢・電話番号・FAX番号（※）・PC用メールアドレス（※）・応募理由を記入の上、持参・郵便・FAX・メールのいずれかの方法で四日市市議会事務局へお申し込みください。様式は問いませんが、必要な方は市議会ホームページ、また、各地区市民センター等に応募用紙がありますのでご利用ください。

※ 任意の記入項目

こちらのQRコードからもお申込みいただけます。



【募集期間】 令和7年4月18日（金）まで（必着）

【委嘱式】 令和7年5月下旬（予定）

【その他】 特に報酬はありませんが、年度末に記念品をお渡ししています。一般公募のほか推薦の方も含めて、全体の定員は40～50人程度です。

# 市議会モニターさんとの意見交換会を開催しました




11月18日に市議会モニターさんとの意見交換会を行い、23人の方に出席していただきました。

今回は「市議会モニター制度について」「市議会だより、市議会ホームページについて」の二つのテーマで議員と意見交換を行いました。いただいたご意見の一部を紹介します。



会場での主な内容を要約してご紹介します。

詳しくは  
ホームページへ→



## 市議会モニター制度について

市民の声をもっと表明できる場が必要ではないか。

選挙以外で、議員とのつながりはなかったが、今回のように議員と直接顔を合わせて討論できることに、非常にやりがいを感じる。

市議会を傍聴したり、中継を見たりすることは市議会モニター以外でもできる。市議会モニターしかできないことがあると良いのでは。

市議会モニター制度があることを知らない人が多いので、制度を周知してほしい。



## 市議会だより、市議会ホームページについて

市議会だよりや市議会ホームページをもっとPRするなど、市民に見てもらえるようにする工夫が必要だ。



一般質問、代表質問の録画映像は、項目ごとに開始時間が表示されているので、関心のあるテーマの議論が見やすい。

市議会だよりは文字が多いので、最後まで読むのが大変だ。もう少し読みやすくする工夫が必要ではないか。



市議会だよりの一般質問の概要に掲載してあるQRコードから、録画映像を簡単に視聴することができるのでとても便利だ。

# 四日市市議会 × 高校生

## さまざまな実習で専門的な知識と技術を学ぶ！ 四日市農芸高校 農業科学科 食料生産コース & 施設園芸コース

四日市市議会では、高校生の学校生活の様子などを議会が取材して市議会だよりに掲載する企画を行っています。今回は四日市農芸高校を訪問し、農業科学科の「食料生産コース」と「施設園芸コース」の2年生の皆さんにお話をお聞きました。

### 食料生産コース

農作物の栽培や収穫、また、ニワトリやヒツジなどの飼育実習で知識や技術を身に付けます！



— 今日どんな作業をしているんですか？

**A** サニーレタスの苗の植え付けをしています。

— 食料生産コースを選んだ理由を教えてください。

**A** 中学生の時に体験実習に参加して、楽しかったからです。

**A** 野菜を育てるのが好きだったからです。

— 大変な作業はありますか？

**A** 鶏舎の掃除が大変です。

— 市議会議員の仕事を知っていますか？



**A** あまり知りません。

— 市民のために活動する意外と身近な存在なんですよ。

### 施設園芸コース

水耕温室での野菜栽培や、花を活用したアレンジメント技術の習得を目指します！



— 施設園芸コースではどんな資格が取得できますか？

**A** フラワー装飾技能士や園芸装飾技能士のほか、日本農業技術検定の資格が取得できます。



— 四日市農芸高校の良いところを教えてください。

**A** 自分のやりたいことを集中的に学ぶ上、資格も取得できることです。

**A** 四日市農芸高校の魅力が詰まった「農芸祭」というイベントがあることです。

**A** 商業施設でイベントを開いたりするのが楽しいです。

**A** 実習で専門の知識や技能を学ぶのが楽しいです。

野菜や花、土に触れながら、楽しそうに実習に臨む姿がとても印象的でした。四日市農芸高校の皆さんの今後の活躍を応援しています。ありがとうございました。

### あとがき

四日市農芸高校への取材では、生徒の皆さんが、自分の興味のある分野について生き生きと学ぶ姿を見て、元気をもらいました。また、農業を学ぶ女性が多く、とても頼もしく思いました。取材にご協力いただいた四日市農芸高校の皆さん、ありがとうございました。

#### 広報広聴委員会 (◎委員長 ○副委員長)

◎石川 善己 ○伊藤 嗣也 上 麻理 樋口 龍馬  
水谷 一未 村上 暁 森 智子 山田 知美

### ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号  
四日市市議会事務局  
Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

#### Eメールアドレス

shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

#### ホームページ

四日市市議会 検索

発行/四日市市議会 編集/広報広聴委員会